

例会報告

第2616回例会報告議事録

日時 令和2年8月25日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ビジター：なし

S.A.A.: 小池喜之

ゲスト：我孫子市議会議員 高木宏樹様(環境都市常任委員会委員長 議会運営委員会委員)

会長挨拶

村越会長



新型コロナウイルス感染の拡大を憂慮しまして、先週、先々週と2週、休会とさせていただきます。3週間振りに皆さんの顔を拝見することができまして、やはり、こうやって顔を拝見しながらお会いできるのはいいなと思った次第です。

ただ専門家会議の発表ではピークは過ぎたということらしいのですが、8月4日の段階では我孫子市内の累計感染者が28名、本日は47名ですので、3週間で19名増えているということで、まだまだ予断を許さない状況なのではないかと思

います。

今日、新しい試みとしてZOOMで古谷野会員と米田会員と塩毛会員に参加していただいています。よろしくお願いたします。

コロナのこういう状況下でオンラインの会議というのは必要ですが、コロナ後も、このようにオンラインでの例会も当たり前になる時代がくるのかなと思っています。まだ例会出席の条件等、整合できていない部分もありますので、どういった形でオンラインで参加した場合に出席扱いにするのか等、また理事会で詰めていきたいと思ます。

本日は市議会議員の高木様に来ていただいて卓話を頂戴したいと思います。実は高木議員のおじさん、お父さんの弟が私と同級生で中学校からずっと仲良くしていただいています。選挙に出る時も最初から応援させていただいていました。青年会議所の後輩でもありまして、本当に息子のようにかわいがってききましたので、今日はどんな話をしてくれるのか楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。

ZOOMで参加してくださっている皆さんも、どうぞ宜しくお願致します。ありがとうございます。

親睦委員会報告

柳田委員長



こんなコロナの中ですので何も活動ができない状況です。ご理解いただければと思ます。また活動できるようになりましたら、皆様にご相談しながら活動しようと思ます。よろしくお願いたします。

カップまつり実行委員会報告

依田会員



今年はカップまつりは中止ということになっているのですが、疫病退散ということでアマビエアビちゃんのバッジを作りました。

それに伴い、アビシルベで現在カップまつりの歴史展ということで、第1回~12回のポスターと写真を展示しております。メッセージカードにメッセージを寄せてくださった方にこのバッジを差し上げています。お時間ありましたら、ぜひ立ち寄っていただければと思ます。

出席委員会報告

前田委員長



23名(出席免除者含む)出席(全員で32名)出席率71.23%

業務の為: 梶会員、佐藤雅教会員、堤会員、寺井会員、日暮会員、湯下会員



- ・高木様、お忙しい中ありがとうございます。この後、卓話を宜しく願いいたします。
- ・地区より令和2年7月豪雨に際し、2700地区(福岡、長崎、佐賀)、2720地区(熊本)よりガバナーを通じて災害支援金の依頼がありました。災害基金より各地区へ100万円送金したとの報告が入っています。
- ・柏南RCより40周年記念誌受理。
- ・柏東RCよりクラブ活動計画書受理。

卓話「縁について」

環境都市常任委員会委員長
議会運営委員会委員
我孫子市議会議員 高木宏樹様



今日は貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。卓話の機会をいただいたことに感謝するとともに、楽しみにしてやってみました。

卓話の話を荒井さんからいただいた時に、卓話というのが初めてだったので、どんな話をすればいいのか、皆さん方のロータリークラブのホームページを参考にさせていただきました。

例会報告を拝見すると、皆さんのお仕事のお話や、読んだ本や、趣味の話、生い立ちの話等でした。

今日にいたるまでに私はいろいろな人との縁があって、縁に生かされている、というような話をさせていただこうと思います。

コロナで3ヶ月くらい家にいまして、考える時間だけはたくさんありました。今日のこと、明日のこと、1年後のこととか先のことを考えることはけっこうあるのですが、過去を振り返って人に感謝するような機会をいただけたことはありがたく思っています。

昭和57年に我孫子で生を受けました。祖父の代から我孫子に住んでいます。

先ほど村越会長が私の叔父と同級生とお話してくださったのですが、石原先生が私の父と同級生で、細かい家庭環境はお二人から聞いていただくと客観的でよろしいと思うのですが、祖父は大変厳しい人で高校の教師をしていました。父も公務員で足立区役所に務めていました。母は専業主婦でしたが、農家の生まれでいわゆる固い家庭でした。孫を殴るようなおじいちゃんに育てられましたし、祖母は茶道をやっていたので、物心ついた時には正座をしながらお茶を飲んでいました。

地元の小学校と中学校を出て、中学校2年生の時にたまたま隣のクラスになった女の子が十数年後に私の妻となりました。

大学は大正大学という仏教をやる大学で、志賀さんと同じ大学です。今日のテーマである「縁」を考えるきっかけにもなりますが、仏教大学で最初に習うのが「妙」という言葉でした。「妙」というのは、形はないけれども、ものすごいありがたいもの、というものです。

大学1年の時はいろいろなバイトをさせてもらいました。専攻が日本史でしたので、遺跡発掘のアルバイト、家庭教師、ディズニーランド、サークルが福祉系のサークルだったので筋ジストロフィーの方の入浴のアルバイト等をやったのですが、一番長く続いたのは、家電量販店でのプリントメーカーのマネキンでした。成績がよかったようで売り方を教える仕事をしなさい、ということで売り方の講師の仕事をするようになりました。

大きな縁が二つあるのですが、一つ目の大きな縁がその頃ありました。

仕事の帰りに我孫子駅から降りて来たら、中学校の時に卓球部でダブルスを組んでいた古谷君という友達が車で通りがかり、送ってってくれました。彼は高校でバイクが好きになってしまい、他校の生徒と戦うような人生を歩みだしてしまい、2、3年連絡を取っていませんでした。

彼は茂原で市長選挙の手伝いをしていました。おもしろそうだったので、その仕事を紹介してくれないかということで、彼も僕のアルバイトに興味を持ち、お互いにアルバイトを交換しないかというような話になり、それが僕の選挙との関わりのきっかけになりました。

2001年の参議院選挙で初めて選挙の手伝いをしました。高木が選挙のアルバイトをやっていると評判になり、大学がある豊島区の方の区議会選挙も手伝わないかということで、私が本当に選挙を始めるきっかけになりました。

選挙事務所というのはダルマがあって、神棚があって、推薦状があって、千羽鶴があって、異空間です。いろいろな人が来ます。フィリピンで宝石商をやっている人や、テレサテンを台湾から連れて来たのは俺だ、というような人とかに会ったりしました。

(次ページへ続く)

その時の候補者は元高校の野球部の監督をされていた先生でした。高校野球にも2回くらい行ったことのある先生でした。選挙の最終日に決起大会をやる時に、若者の前でしゃべってくれないか、ということでしゃべりました。何をしゃべったかはわからないのですが、その先生は「私は長年教員をやっていたので、こういう子供たちに励まされると…」と泣いていらっやいました。それを見て支援者の方たちも泣いていらして、それを見て、僕はいつかこれをやりたい、と思い、それがこの道を志すきっかけになりました。

その後、大学を卒業するのですが、人材派遣会社にそのまま就職しました。研修講師の仕事でした。「はい、皆さん、おはようございます。今日、研修を担当させていただきます高木です。二泊三日、皆さんと共に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお祈りします!」というようなことを19歳位から6年位やりました。

その講師をしながら、政治の世界に足を踏み入れてみたいなという思いがどこかにありました。

私が大学を卒業した翌年から就職がよくなりました。がんばった割に月に666円しか給料が上がり、ちょっと大手で働いてみたいなと思い、半導体メーカーに転職することができました。

リーマンショックというのが起き、注文が激減し、下請けがつぶれて、取引先の上司がリストラで毎週のように変わり、けっこう大変な26歳、27歳でした。

ある日、普段は取らない知らない所からの電話を魔がさして取ってしまったら、ヘッドハンティングの電話でした。ソニー生命にヘッドハンティングされたのですが、18歳、19歳の頃に友達が応援していた候補者がソニー生命でしたので、忘れかけていた政治への思いが急に沸々とわき起こってきました。

ソニー生命に入った時から、いつか選挙に出るという思いがありました。その頃、結婚も決まり、平成23年の東日本大震災を迎えました。

東日本大震災の時、私は汐留の日本テレビタワーのソニー生命で、妻は新宿で勤めていました。当時、JCに入って2年目だったと思います。依田さんが理事長の頃で、ボランティアに行ったり、カップまつりの実行委員会に入ってみたり、社会活動を始めました。

その平成23年の11月に我孫子の市議会選挙があるということで、今にして思えば「よくやったな」と思うのですが、言ってしまったものでやるしかない、という感じで選挙に出ました。

ここから二番目の大きな縁がやってきます。妻が元々、文房具をやっている、その関係で親戚になっていたのが秋谷先生で、挨拶に行きました。アポイントが取れず議会の前で待っていると、市長室に通していただきました。応援してる層も違うからお互い受かるだろうと言われ、そんな感じで選挙に臨みました。

今まで4回選挙に出させていただきましたが、その時が一番大変な選挙でした。その時はソニー生命もやめなければならず無職でした。選挙の頃は妻は臨月でした。何をやっていいのかわからず、お金も余計にかかりましたし、お手伝いしてくださる方も初めてで、みんなよくわからず、毎日のように誰かが泣いたり、けんかしたり、そんな感じだったのを記憶しています。

ふたを開けてみたら、秋谷先生は1251票、私は1250票で1票差で私は落選しました。夜の選挙事務所は1人減り、2人減り、事務所が暗くなっていた時に、今日いらっやったらお礼をしたかったのですが、今井先生が来てくださり、こうなったのは私の責任もあるから、と挨拶もして下さったことは忘れられません。

その後、今井先生の紹介で印西の白須賀事務所で秘書をやらせていただきました。その後の補欠選挙で無事にバッジをつけさせていただきました。

今井先生にお世話になったので、食事にお誘いして、なぜ負けた事務所に来てくれたのかを聞きましたら、今井先生も落選された経験があり、その時に誰かに来てほしかったんだよ、だからお前の所に行ったんだよ、とおっしゃいました。本当にいろんな人の気持ちに触れる政治の世界なんだなと思いつながら今も活動しています。

僕が選んだ世界は人のつながりや縁、きっかけとか気持ちで生かされている世界なんだなと、後日、秋谷先生にお会いした時も実感しました。

私が今、何合目にいるかわからないのですが、まだまだ2合目、3合目であってもらえればと思います。これから先も人とのご縁を力に変えて大事にしながらやっていきたいなと思っています。

その後、古谷君と会って話す機会がありました。ロータリークラブで卓話をするんだという話をして、「フルがいなかったら政治家になってないよ」と話しました。

この卓話の機会をただけて本当に感謝しております。今日、新しいご縁をいただいたことを感謝申し上げます。あまりまとまらなかったと思いますが、私の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

開会の言葉

村越会長

高木議員は、いつも興が乗ってくると巻き舌で、べらんめえ調になり、話はうまいけど心が伝わらないと言っていたのですが、今日は大丈夫でした。本当に心をつかまれました。ありがとうございました。

以上を持ちまして2616回の例会を閉会いたします。また来週、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございます。点鐘いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
村越会長	高木様 卓話ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	高木先生 卓話ありがとうございました。	1,000円
石原会員	高木先生 卓話ありがとうございました。	1,000円
小野会員	高木様 卓話ありがとうございました。	1,000円
上村文明会員	卓話有りがとうございます。	1,000円
上村英生会員	高木さん ありがとうございます。	1,000円
木村会員	高木議員 卓話ありがとうございました。	1,000円
小池会員	高木議員 卓話ありがとうございました。	1,000円
服部会員	高木様 卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	高木さん 楽しい卓話ありがとうございました。	1,000円
前田会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
柳田会員	高木議員 楽しいお話し ありがとうございます。	1,000円
依田会員	高木様 卓話ありがとうございました。	1,000円
	当日計	13,000円
	今期累計	98,000円

今週の表紙「手賀沼親水広場」我孫子市高野山新田193

手賀沼親水広場は、手賀沼のほとりの我孫子市鳥の博物館の傍らにあります。水の館と広場で構成されていて、水の館では無料のプラネタリウムも楽しめます。じゃぶじゃぶ池や水の広場があり、小さな子ども達の水遊びを楽しむ事ができます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。